

第 1 回総合計画審議会意見について

1 基本構想

項 目	事務局対応案
<p>(1) 将来の人口見通しについて (委員意見)</p> <p>①P9 に人口見通しがあるが、資料として、近隣の市町の人口推計を提示していただきたい。また、28、29 年度の月末の人口動態を広報でみると 29 年度は毎月女子が減っている。人口が減少している原因等についてどのように分析しているのか伺いたい。</p> <p>②人口に関して、現実的に 5 万人程度住んでいる状況であるが、目標人口が消極的なイメージである。</p> <p>③マイナス思考ではいけないと思う。まちづくりを考える上で、5 年後、10 年後人口が減るからどうしましょう、というのではなく、人口が減らないようにするにはどうすればいいのかを考えるべきではないかと思う。人口がプラスになっている自治体もある。人口増は難しいにしても現状維持のために、東浦に住んでみたいと思ってもらえるにはどのようにすればいいのか、前向きに希望を持って考えていきたい。</p> <p>【参考意見】</p> <p>④国民健康保険の関係で話を伺ったところ、国としては公には 10 年先しか推計は出せないということであり、10 年以降は各自治体の状況に合わせて推計すること。状況をしっかり把握することが重要。</p>	<p>①近隣市町の人口推計、H28・29 の本町の人口動態は参考資料 5 のとおり。</p> <p>②③出生率の上昇や人口の社会増の取組は継続するものの、人口の現状維持や人口の増加につながる確実な施策がない中で、社会保障・人口問題研究所の推計を覆す人口見通しを、町として根拠をもって出すことは出来ないと判断しました。</p>
<p>(2) 景観について</p> <p>①景観についての記載の部分では違和感がある。身近にある良好の景観を守るという点について、自然については良いが、景観については景観計画では市街化区域の中で、坂道、路地を活かしていくとある。今後安心安全なまちづくりを目指す中で、狭い路地を本当に活かしていくていいのかは疑問である。今後計画を進めていく中で具体的に考えるべきであり、この部分でこのような記載を</p>	<p>①②景観については、「東浦町景観計画」に基づき、まちづくりを進めているところです。本計画は、東浦町の景観の特性や実態から、景観の保全や活用に向けて課題を整理するとともに、東浦らしい景観を守り育てるための、景観まちづくりの方向性を定めることと取り組むべき行動を整理することを目的に策定したものです。</p> <p>このことから、現存している狭い路地等について</p>

<p>していいのか。</p> <p>②町中を歩いてみると空き家が多いことがわかる。一見、景観は町外から来た人から見ると心が和む良い景色だとは思いますが、住んでいる人から生活しにくい。住みやすいまちにするために道路を拓げることにより、危険な地域になる懸念がある。コミュニティの代表としても住んでいる人の意向が掴めればよいかと思う。</p>	<p>も、必ず保全していくということではなく、安心安全を考慮した上で、必要に応じて良好な景観の形成をしながら活かして行きたいと考えています。</p>
<p>(3) コンパクトなまちづくりについて</p> <p>①P10「将来の土地利用のコンパクトなまち」であるが、コンパクトなまちづくり計画をみると、もうすでにコンパクトになっていると評価されている。さらに集約する必要があるのだろうか。多くの方が丘陵地に住んでいる中で、鉄道駅に集約という表現になっているのは違和感がある。コミュニティバス等の公共交通機関を充実すれば、新たなハード整備をする必要は無いのではないか。</p> <p>②コンパクトなまちといっても中心に公共施設が集まっているが、町内の端には高齢者が多く、そこからは遠い。地区ごとに拠点があるとよい。地区ごと課題は違うため地区ごとの計画があるとよい。</p>	<p>①②御意見のとおり、国土交通省を中心に全国で進められているコンパクトシティの形成と比較した場合、東浦町は既にコンパクトなまちとの評価は出来ると考えております。</p> <p>しかしながら、今後の人口減少を見すえた場合、既成市街地から離れた地域で宅地開発を進めますと、人口密度の低下による生活利便施設（商店・医療機関等）の撤退や空き家の増加、上下水道の新規整備や維持管理経費の発生といった行政コストの増大を招き、まち全体としてデメリットが大きくなります。そうした事態を避けるため、東浦町としてのコンパクトなまちづくりを進めるという意図であり、今後の開発地域を最低限に抑え、まち全体で利便性を享受できるまちづくりを目指しています。</p> <p>また、駅周辺以外の拠点となる宅地の集積している地区については、東西を軸に公共交通機関でつなぐ「コンパクトシティ+ネットワーク」の考え方で進めたいと考えております。</p>
<p>(4) PDCA サイクルについて</p> <p>①町全体でPDCAサイクルが回っていないのではないかと思います。現計画の評価、取り組みの反省点等を踏まえて計画立案をしていくべきだと思います。</p> <p>②20年経てば世の中が変わる。PDCAサイクルをしっかり回すことが重要である。</p>	<p>①②基本構想は今後のまちづくりの方向性を示す部分であり、現行計画の評価については記載が適当ではないと判断しました。</p> <p>しかし、基本計画の具体的な施策の中では、現状と課題を明らかにし、PDCAを意識した記載としております。</p>
<p>(5) 基本構想の記載の矛盾等について</p> <p>①P3にある「ちょうどいい」は本当にちょうどいいのか。そのちょうどいいのか、ということをい</p>	<p>①P3の「ちょうどいい」というのは現時点での東浦町の姿として記載しています。</p>

<p>かに保つのかがあるべきで、無いということとはちよūdよくないのではないか。何がどうあるからちよūdいいのか、示すべきである。P5では、ちよūdいいと言っておきながら、「まちから活気が失われそうです」とあるのはもはや矛盾している。</p>	<p>P4以降の東浦町をとりまく状況においては、将来の人口推計等を見すえた場合、現状の「ちよūdいい」まちが維持できないとの見通しを記載しておりますので矛盾とは考えておりません。</p>
<p>(6) 土地利用構想について</p> <p>①「最適な公共施設のあり方を目指します」とあるが住民サービスの低下に繋がらないように留意すべきであるが、その表記を追加してはどうか。</p> <p>【参考意見】</p> <p>②津波がくるエリアには住宅を建てないというようにし、住宅区域に線引きをしてはどうか。東浦は土地が安く近年住宅が多く立っていることに疑問を抱いている。</p> <p>③自然と調和しながら、教育、文化など多くの分野と連携しながら開発を進めていくことが良いと思う。</p>	<p>①「公共施設の持つ機能は最大化することで最適な再配置・再整備を行います。」を「行政サービスの適正な水準を維持できるよう公共施設の持つ機能は最大化することで最適な再配置・再整備を行います。」に改めます。</p>
<p>(7) 計画全体の方向性について</p> <p>①東浦町として限られたキャパシティの中でも、住みたいと思えるような夢のある総合計画とすべきである。</p> <p>②人口減少の傾向のもと、東浦町のあるべき姿、様々な分野での理想の姿を示したほうが具体的な方策がでるのではないか。もう少し理想の姿を出していければよい。</p> <p>③人口が減少することを踏まえ、東浦町の活力をどこで底上げするのかということが重要であり、そのようなことが基本構想に入っていなければ今やる意味がない。長期的な視点というのは、今既に変化の加速度がついている中で、新たに東浦町の方向性を示さなければ乗り遅れてしまうという点であり、これを町民に明確に示していくことが重要ある。</p> <p>④基本構想ではもっと夢を持つべき。国の政策もフランスの方式をとればよい。フランスでは子どもを産むほど税金が安くなり、仕事も2週間程度</p>	<p>①～④将来の人口見通しは減少傾向と推計されていますが、人口増のみがまちの発展ではないと捉え、基本計画にて東浦町の活力を底上げする重点的な取り組みを明確にし、今後の人口減少社会に対応するためのまちづくりの方向性を示します。</p>

<p>休みをとらなければいけない。そうでもしなければ出生率が上がらない。希望的な観測をもっと入れたほうがいいのではないか。</p> <p>【参考意見】</p> <p>⑤住民意識調査では町の良いところ、悪いところなど多く意見が集まっているため、住民の意見の反映した計画にしてほしい。</p>	
<p>(8) 将来の東浦町の姿について</p> <p>①昔からある近所のつきあいに煩わしさを感じるひとがいる。近所づきあいのような小さい単位での絆があるとよい。</p> <p>②アンケートでは東浦に住む理由として住宅が安いとある。あわせて、緒川に葬儀場ができた石浜にもでき、色々な面で充実している。介護施設で話を聞くと、数十年前は家族が世話していたが施設に入ることになり寂しいという話も聞く。今後町とも協力して生活を充実させていければ楽しい人生になるのではないかと思う。</p> <p>③大きい問題は大きい問題で町全体で取り組み、小さな問題はコミュニティで自分たちで取り組まなければよい。</p> <p>④これから、支えあうというのも大変である。デイサービスに行っていること、認知症などを隠してほしい、人には知られたくないという要望が多い。それが実態である。このような現状を変えていくには大変であるということ認識していただきたい。</p>	<p>①～④少子化、高齢化の進展に対応するために、行政としてはこれまでのまちづくりから方向性を変えなければならないと考えております。</p> <p>同時に、住民・団体・事業者の方々に対しても、今後のまちづくりの方向性を示しながら、意識を変えていただきたいとも考えております。</p> <p>東浦町内に住む人、活動する人がつながることでさらに住みよい東浦町を目指したいという思いで将来の東浦町の姿を提案しました。</p>

2 基本計画

<p>(1) 環境・地球温暖化対策について</p> <p>①世界は大きく変化し続けている。特に環境、地球温暖化対策は大きな課題となっている。2019年6月には大阪でのG20で国際公約を示すこととなっている。これは国の方向性を定め、個人のライフスタイルを左右する時代の大きな転換点である。当初よりも早めた策定となっているが、そのあたりの国の方向性を踏まえた計画とするべきではないか。</p>	<p>①②基本構想の中では、主に今後のまちづくりの考え方を記載しており、個別の分野については基本計画の中で記載することと考えております。</p>
---	--

<p>②東浦町での持続可能な社会とはどうあるべきか検討するべきである。</p>	
<p>(2) AI 等の新技術の導入について</p> <p>①長期的な視点を持った計画として科学技術の革新についても目を向けるべきである。町としても積極的に新しい技術を導入し、行政としての業務改善やサービス向上のもと町民へ質の高い生活環境を提供するというコンセプトとして打ち出していければいいのではないかと。</p> <p>②介護ロボットの開発など商品かが進んでいる。新しい考え方を議論の中に入れて構想づくりをするべきである。</p>	<p>①②AI（人工知能）等の新たな技術はより効率的な行政運営や課題解決に資するものと認識しています。しかし、新たな技術については、現段階で実用化の時期が不明であること、費用対効果等を検討したうえで導入するものであり、基本構想の中ではなく、基本計画の中で記載を検討します。</p>
<p>(3) 高齢者の活用について</p> <p>①人口のグラフをみると高齢者が増えるとはあるが、高齢者でも技術や経験を持った元気な人がいる。人口が減っても、やりがい、いきがいをもてるような場をつくれればよい。</p> <p>②いかに高齢者を納税者にしていくまちとしていくかが書かれているべきであり、働く場所を如何に創出するのが重要である。仕事をリタイアした方々に働いていただき、納税者にすることにより活気が保たれることを大前提にしなければ構想と呼べない。</p>	<p>①②「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」では 65 歳までの安定した雇用を確保するため、企業に「定年制の廃止」、「定年の引き上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置を講じるよう義務付けており、従業員 31 人以上の企業においては 99.5%が措置済みであり、71.4%の企業では 65 歳以上になっても希望者の雇用を受け入れており、環境は整備されていると考えております。</p> <p>但し、従来の企業での就労以外にコミュニティビジネスなどの新たな分野については、行政として支援することも含め基本計画の中で検討いたします。</p>
<p>(4) コミュニティビジネスについて</p> <p>①ボランティアだけではなく地域の会社のような小さなビジネスができると、地域で活躍できる。P7 にも含まれているとは思いますが、もう少し色濃くあるとよい。</p> <p>②事情によって社会にでていない方もいるため、うまく活用していただければ小さな納税者が増えるのではないかと。</p> <p>③子育てをしてきてある程度落ち着き、職場復帰をしているが、そうでない人が多いのが現状。多様な働き方ができるとよい。</p>	<p>①②③上記(3)に関連しますが、高齢者や主婦、学生など、様々な立場の方々が多様な働き方ができるよう、環境づくりやきっかけを提供できるようなまちを目指す旨の記載を検討します。また、コミュニティビジネスについては、地域課題の解決のみならず、地域活性化、雇用創出、経済活性化等の効果も期待できることから、基本計画においてその支援等の記載を検討します。</p>

<p>(5) 様々な分野での具体的な方策等について</p> <p>①P3 「「ちょうどいい」があります」とあるが人口減少の傾向のもと、東浦町のあるべき姿、様々な分野での理想の姿を示したほうが具体的な方策ができるのではないか。もう少し理想の姿を出していければよい。</p>	<p>①基本構想の中では、主に今後のまちづくりの考え方を記載しており、個別の分野については基本計画の中で記載することと考えております。</p>
<p>(6) 文化やスポーツに関する言及について</p> <p>①文化やスポーツに関する内容が構想に入っていないのが残念。確かでない。作っていくべき。</p> <p>②P7「あるものを活かしたまちづくりをします」という点では、現在は文化、スポーツで中心になるものがなく、置いてけぼりになりがちである。他所のまちで活動している人が多い。</p> <p>③P7「あるものを活かしたまちづくりをします」に歴史についての視点がなく、歴史に重きにおいていない印象。周辺市町より歴史は深いはずである。歴史に力を入れるということは郷土愛を育むことに繋がる。</p>	<p>①②③基本構想の中では、主に今後のまちづくりの考え方を記載しており、個別の分野については基本計画の中で記載することと考えております。</p>
<p>(7) 保育園、病児保育について</p> <p>①一点だけ問題として認識しているのは、保育園に入れない、病児保育の受け入れが少ないという点である。刈谷市、大府市では子育て支援でも充実しているという話も聞く。参考にしながら東浦でも活かしていければよい。</p>	<p>①いつの時点での事案かはわかりかねますが、東浦町の昨年度（H29 年度）の状況としては、待機児童はなく、比較された自治体ではそれぞれ 10 数名の待機児童が存在しており、現状は異なります。</p> <p>病児保育の受け入れについては、疾病時にしか利用しないという特性上、事前登録制とさせていただいております。今後は事前に登録していただけるよう啓発に努めてまいりたいと考えており、基本計画においてはその旨の記載を検討いたします。</p>